

COMPASS 発達支援センター 諫早

令和5年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	7	定員とスペースの関係は適切であり、個々の特性や課題に応じて個室やパーテーションを利用しております。		
	2	職員の配置数は適切である	7	法令で定められた以上の人員配置で対応しております。また、全員が有資格者で構成されております。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	余暇・個別療育・集団活動の活動スペースをわかりやすく分けて活動しております。また、現時点は車椅子を使用する児童の受け入れはありませんが、室内に段差がないため車椅子などの児童に対して問題が少ない環境を確保しております。		
業務改善	4	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	全職員が業務に関する課題を出し合い、改善策について話し合いの機会を設けております。また話しやすい空間となるよう心掛けております。		
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	定期的に、アンケートによる評価を実施しております。いただいたご意見やご要望は、周知、検討し、順次改善に努めております。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	7	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	事業所内研修など資質向上のための勉強会は定期的に行っており、外部研修は Web での研修に参加しております。また、Web 研修の内容を全職員と共有しており、職員の資質の向上に努めております。		
	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	児童と保護者様のご意向や各関係機関との連携を踏まえ支援計画の見直しを行い、客観的に分析したうえで作成しております。		
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	定期的に統一したアセスメントツールを用いて児童の状況や保護者様のご意向を確認しております。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	個別、小集団の支援を多角的に組み合わせるため、職員がチームとなり、「考える」「主体性」「個性」などを意識した児童に合った活動を立案しております。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	児童の特性を考慮し、段階に合わせたプログラムをおこなっております。また季節感が感じられるような製作・行事などの活動を実施しており内容が固定化しないよう心がけております。		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	平日の限られた時間内、休日、長期休暇のゆとりある時間内での課題、各児童のニーズに合わせて、それぞれの課題を設定しております。また課題設定にともない職員間で随時話し合いを実施し、多角的、包括的な課題設定を実施しております。		
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ、個性、多様性のある計画を作成しております。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	前日の振り返りを元に、朝礼、昼礼時に打ち合わせを行い、役割分担の確認をおこなっております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	前日の振り返りを元に、朝礼、昼礼時に打ち合わせを行い、役割分担の確認をおこなっております。	
17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	7	毎回活動の記録を取り、情報共有のうえ、支援の検証・改善につなげられるようしております。		
関係機関や保護者様との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	7	定期的にモニタリングをおこない、目標の達成状況等を保護者面談にて詳しくご説明しております。保護者様のご意向をお聞きし、児童の現状を考えたうえで、見直しや支援の方向性を定めております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	7	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっております。また、保護者様ごの児童に適切に選択し、具体的な支援内容を設定しております。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	7	担当者会議には、児童の状況を一番把握している児発管と、その児童と関わり深い職員、専門職が同行しております。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	7	利用開始前や送迎時等に学校の先生方と送迎時間や場所、今後の予定について確認をおこなっております。また学校訪問時に様子をうかがい、各種連絡等について確認するよう心掛けております。	
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	7	7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	7	進学時には児童の状況について電話連絡や訪問をおこない、情報共有・相互理解を図っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	7	現在までに卒業した児童はございませんが、進路については保護者様と相談しております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	7	現在はリモート研修に参加し、職員間で共有しております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	7	7	今年度は交流の機会はありませんでした。	保護者様のご意向を伺いながら検討してまいります。
保護者様への説明責任等	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	7	今年度は、参加ができておりません。	今後につきましては、研修講義等への参加により能力向上に繋げてまいります。
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	7	7	連絡帳や送迎時にその日の療育内容や児童の様子をお伝えしております。また、保護者様からはご家庭での様子などを伺い、情報共有に努めております。	
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	7	7	保護者様の対応力の向上を図る観点から、児童との関わり方などについて助言や支援をおこなっております。	
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	7	契約時に重要事項説明書や利用契約書を通して詳しく説明をおこない、ご理解いただいております。	
	31	保護者様からの子育ての悩み等に必要に応じて適切な助言や支援を行っている	7	7	保護者様からの相談に対しては随時受け入れ、保護者様や児童に寄り添った助言と支援をおこなっております。	
	32	父母の会等の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	7	7	過去には保護者様の参加型の行事を企画し、保護者様同士の交流の機会を計画・実施しておりましたが、現在はいたしておりません。	保護者様の交流の機会について検討して参ります。
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	7	保護者様よりいただいたご意見は全職員で共有し迅速に対応できるように努めております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7	7	公式 Web サイトのブログで事業所の様子をお伝えしております。また、SNS での情報発信や事業所だよりなど情報を発信しております。	
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	7	7	個人情報の使用や、使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。また内部研修にて個人情報についての研修をおこなっております。	
非常時等の対応	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている	7	7	児童の特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っております。また活動目的の一つに「自己表現活動」を取り入れ、自己表現能力の向上へと繋がるよう努めております。保護者様にも伝え方や対応についてできる限り相手の立場に立った配慮をおこなっております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	7	現在は行っておりません。	保護者様のご意向をうかがい検討をおこなってまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	7	マニュアルを入り口付近の見やすい場所に掲示しており、職員・保護者様に周知されております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	7	保護者様の状況や児童の特性に合わせ情報伝達や意思疎通への配慮を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	7	現在は、Web 研修などに参加しております。また、内部での虐待防止研修において事業所内で周知をおこなっております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	7	利用契約書に身体拘束の禁止を記載してあり、生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ書面により保護者様の同意を得ることにしております。	
42	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	7	7	現在、食物アレルギーのある児童はおりませんが、保護者様からの聞き取り情報は全職員で共有し、万一の場合は医師の指示書に基づく対応ができるよう徹底しております。		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	7	ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有を行って話し合いの場を設けて、再発防止に努めております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。